

研究主題

考えよう、自分の安全 みんなの安全

～ 人とのつながり・日常化を重視した安全教育 ～

目指す児童像

自ら危険を予測して回避する力を持ち、地域の中で安全に目を向ける子

1 主題設定の理由

本校では、「自分の命は自分で守ろう。」を目指して安全教育に取り組んでいる。昨今、地球環境の変化に伴う異常気象や世界情勢の変化に伴う脅威など、児童の安全を脅かす出来事が起きている。これからの時代を生き抜く児童の危険回避能力を高めるとともに、様々な想定で安全指導・避難訓練を行い、臨機応変に適切な行動がとれるようにすることは、喫緊の課題とも言える。

そこで、児童が自らの安全を考え行動できる力を育てるとともに、他者の安全も考えることができる力を育てる授業が展開されるよう「考えよう、自分の安全 みんなの安全」を研究主題に設定した。

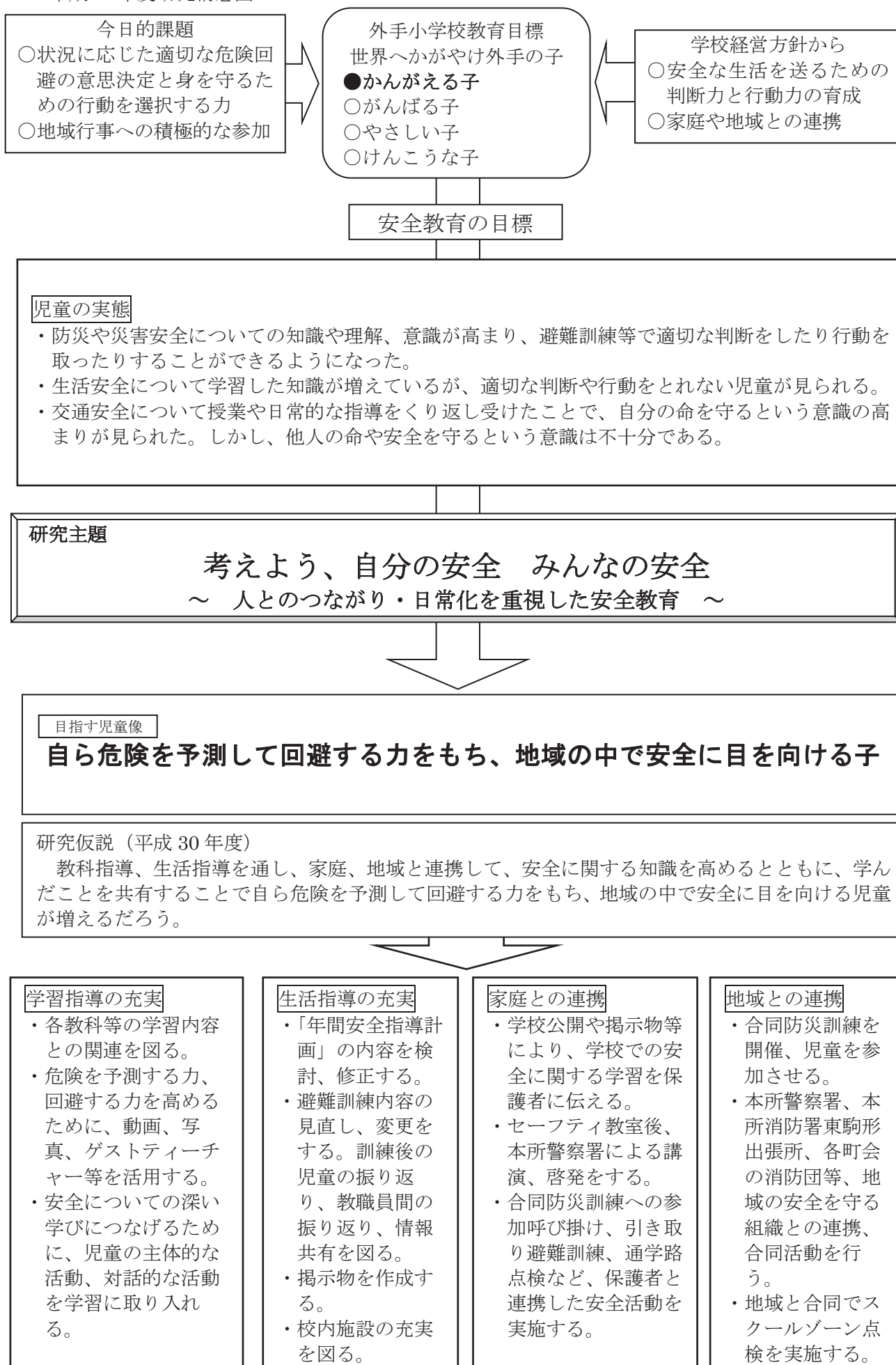
昨年度は、安全教育プログラムを基に、安全教育の三領域における基礎的な研究、特別活動での安全教育を取り入れた授業実践を行った。また、安全指導や避難訓練などの日常的な安全教育に加え、地域・家庭と連携した防災訓練にも取り組んだ。災害などの緊急時に、児童一人一人が自らの安全を考え行動するとともに、地域の一員として、発達の段階に応じた役割を担うことのできる力を育てたいと考えたからである。さらに、本校特有の敷地面積の狭さによるけがも多く見られる。限られた教育資源の中で、多くの児童が安全に生活するにはどのようなことに気が付ければよいのか考え、行動できる児童を育成する必要がある。

今年度は新学習指導要領に基づき、授業の中での安全教育に取り組んできた。小学校6年間を見通し、授業の年間計画に安全教育を盛り込んだカリキュラムと領域別系統表を作成した。各教科の中で安全教育を行うことにより、児童が安全に関する知識を身に付けるとともに、学んだことを様々な場面で活用し、より安全に行動することができる考えた。

2 目指す児童像

低学年	安全のための決まりを守り行動できる児童 危険な状況を発見したら、大人に知らせ指示に従う児童
中学年	安全に関する知識を身に付け、自他の安全を意識した行動ができる児童
高学年	安全に関する知識や体験を深め、身近な人々の安全に気配りできる児童
わかたけ学級	身の回りの危険に気付き、命を守るための方法を知り行動できる児童

3 平成 30 年度研究構想図



平成 30 年度校内研究授業



2 学年 (6 月 20 日実施)

生活科「町のすてき大はっ見」(生活安全)

公園で遊んでいるイラストを見て、危険な遊び方をしている子を見付け、その理由と安全な遊び方をグループで考え発表し合った。

生活科のねらいである「社会の一員として、安全で適切な行動をする」をふまえ、安全な遊び方を考えた。



4 学年 (9 月 26 日実施)

社会科「東京の町をきずいた人 後藤新平」(災害安全)

関東大震災で小学校がどのような被害を受けたのか、当時の学校の写真と復興小学校の写真を見比べて震災前との違いについて話し合った。

子供たちは、後藤新平はどのような学校を目指して復興したのか、震災に強い学校とはどのような学校なのかを考えた。

1 学年 (9 月 21 日実施)

生活科「がっこうたんけん」(生活安全)

校内のお気に入りの場所の写真を見ながら、そこに潜んでいる危険と安全な過ごし方をグループで話し合い、発表し合った。

実際に起こり得る危険をイラストで示すことで児童の理解を深めた。



3 学年 (7 月 18 日実施)

理科「風やゴムの力はたらき」

(生活安全)

風やゴムの力で物が動く様子について実験をして追究する中で、強風時の経験を想起させ、起こり得る危険について予測した。

この單元における「風のはたらき」の実験では、主任教諭を中心に OJT を実施し、本時の授業に生かすことができた。





5 学年 (5月23日実施)

社会科「自然条件と人々の暮らし」
(災害安全)

高地にクラス人々は、自然条件とどのように向き合っているのか、「気候」「産業」に加え「自然」「災害」というキーワードからグループで調べ学習を行った。

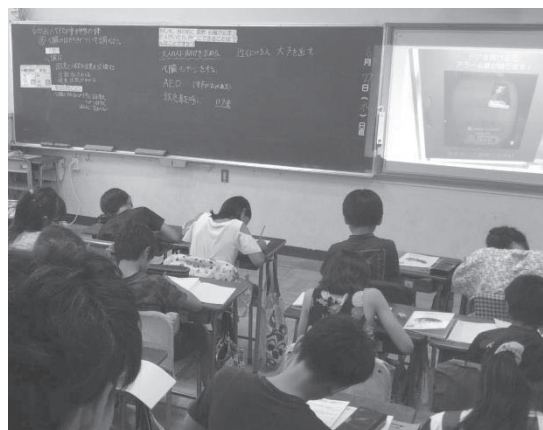
移動教室で行く栃木県鹿沼市と同じ高地の人々を襲った災害について調べ、移動教室中に想定し得る災害についても話し合い、危険回避の行動について考えた。

6 学年 (6月27日実施)

理科「人や他の動物の体」(生活安全)

心臓の働きについての動画を見て、心臓はどのような働きをしているのかを考えた。

心臓が動かなくなり、体中に酸素が運ばれなくなるとどうなるのかを考え、目の前にいる人の心臓が突然止まってしまった時の対応について、自分にできることは何かを話し合った。



わかたけ学級 (5月30日実施)

特別活動「安全に避難しよう」(災害安全)

体育館の写真を見て危険な場所を探し、その後体育館に移動してどこに避難すればよいかを考え、避難の合図やポーズを決めた。自分たちで避難の合図を決めて、安全な避難の仕方を身に付けた。



地域・家庭との連携

<外手小学校地区防災拠点会議>

・実施日 平成30年10月4日(木) …平成30年度第4回拠点会議

毎年、実施される会議。地域、行政、学校が連携して、万一の場合に備えるために話し合いをする。今回は主に避難所開設訓練について話し合われた。



<外手小学校地区合同防災訓練・避難所開設訓練>



全体会



避難者受付



発電機の操作



簡易トイレの組立



備蓄倉庫見学



炊き出し

<外手小学校地区合同防災訓練>

- ・実施日 平成 29 年 11 月 3 日 (金) ※28 年度も実施
- ・参加者 本所消防署員、消防団員、外手小学校地区町会の方々、本校児童、保護者、教職員

主な活動 ・ 起震車 ・ 大声コンテスト ・ 煙体験
 ・ 水消火器 ・ 伝言ダイヤル ・ A E D

<防災の日・地域、保護者との安全学習と引き取り訓練>

- ・実施日 平成 30 年 9 月 1 日 (土)



防災かるたを使った
安全学習 (1 年)



防災グッズづくり (2 年)
スーパーの袋と段ボールでつくる



防災すごろくを使った
安全学習 (3・4 年)



AED・水消火器体験 (5 年)



伝言ダイヤル体験 (6 年)



引き取り訓練

<学区区域スクールゾーン点検>

学校と町会が役員を務め、30 年前から続ける活動
 児童の登校班と同行して通学路を点検

- ・実施日 平成 30 年 9 月 27 日 (木)
- ・参加者 本所警察署員、墨田区役所職員、町会の方々
 保護者、教職員
 合計約 50 名



※29 年度は点検を受けて、横断歩道の白線の引き直し、路面表示(止まれ)の塗り直し、スピード減速効果のドットラインなどの改善・修繕が行われた。



<家庭との共通理解>

防災の日に合わせて、「かぞくのやくそくカード」、「安全チェックシート」を配布し、家庭での防災意識の向上を図った。

○かぞくのやくそくカード


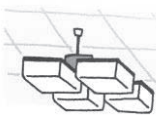

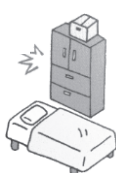
災害時の行動、災害伝言ダイヤル、避難所・はぐれた時の待ち合わせ場所について家族で確認し合うカード。記入したカードはランドセル等に保管する。

かぞくのやくそくカード	いのちをまもるやくそく																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">いつときしゅうごうばしょ 一時集合場所</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ひなんばしょ 避難場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">していひなんじよ 指定避難所</td> <td></td> </tr> </table> <p>一時集合場所 避難場所に避難する前に、避難者が一時的に集合して様子を見る場所</p> <p>避難場所 火災などの危険から身を守るために避難する場所</p> <p>指定避難所 家に住めなくなったときの一時的な生活場となる場所</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かぞくととはぐれたときは</p> <p style="text-align: right;">で まちあわせ</p> </div>	いつときしゅうごうばしょ 一時集合場所		ひなんばしょ 避難場所		していひなんじよ 指定避難所		<p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 2px;">いのちをまもるやくそく</p> <p>ゆれているあいだ おちてこない たおれてこない いどうしてこない } ばしょで、みをまもる</p> <p>ゆれがおさまってから かぞくのかくにん・火のしまつ・まどやドアをあげ、にげ道をつくる</p> <p>ひなんするとき ちかくの人と声をかけあって・川のちかくはとあらない</p> <p>災害伝言ダイヤル(171) (音声案内にしたがってできます)</p> <p>録音 じぶんのこと(無事、どこにいるのか)をつたえよう 〔1〕〔7〕〔1〕+〔1〕+(音声電話番号)</p> <p>再生 かぞくのこと(無事、どこにいるのか)を聞く 〔1〕〔7〕〔1〕+〔2〕+(音声電話番号)</p> <p style="text-align: center;">災害伝言ダイヤル(171)をつかおう</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td>伝言の録音</td> <td>伝言の再生</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〔1〕〔7〕〔1〕をダイヤルします</td> </tr> <tr> <td>〔1〕をダイヤル</td> <td>〔2〕をダイヤル</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自宅電話番号をダイヤルします</td> </tr> <tr> <td>伝言を録音</td> <td>伝言を再生</td> </tr> </table> </div>	伝言の録音	伝言の再生	〔1〕〔7〕〔1〕をダイヤルします		〔1〕をダイヤル	〔2〕をダイヤル	自宅電話番号をダイヤルします		伝言を録音	伝言を再生
いつときしゅうごうばしょ 一時集合場所																	
ひなんばしょ 避難場所																	
していひなんじよ 指定避難所																	
伝言の録音	伝言の再生																
〔1〕〔7〕〔1〕をダイヤルします																	
〔1〕をダイヤル	〔2〕をダイヤル																
自宅電話番号をダイヤルします																	
伝言を録音	伝言を再生																

○安全チェックシート

非常時に備えるものの確認、家の中の安全点検を家庭で行うためのチェックシート。

過去の震災では、家具の転倒により家に閉じ込められたり、けがをしてその後の避難生活にも支障をきたすケースが数多く発生しています。家の中の安全性を調べ、小さな対策を講じることで発生時の被害の減少に大変な効果を発揮します。家族で家の中のどこに危険があるかを調べてみましょう。

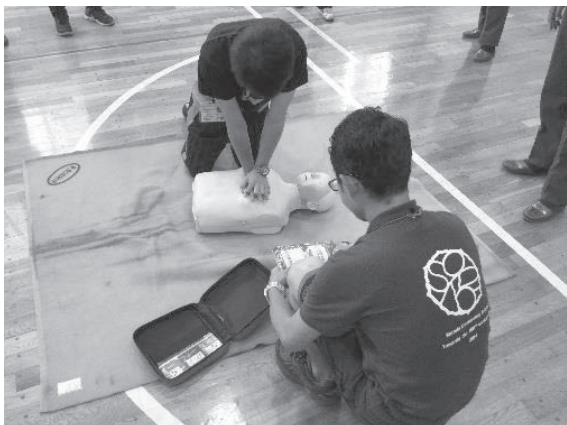
<p>あてはまる項目に○をつけましょう。チェックの入った項目については、できるところから改善していきましょう。</p>	<p><input type="checkbox"/> 出入り口をふさがれる危険がある</p> 	<p><input type="checkbox"/> 固定されていない照明がある</p> 
<p><input type="checkbox"/> 高いところにこわれ物などが置いてある。</p> 	<p><input type="checkbox"/> 寝室に倒れると危ない家具がある。</p> 	<p><input type="checkbox"/> 大型の家電製品(冷蔵庫、テレビなど)やピアノなど動くと危険な物がある。</p>

(一部抜粋)

教職員の研修 ～教員のアイデアを活かして～

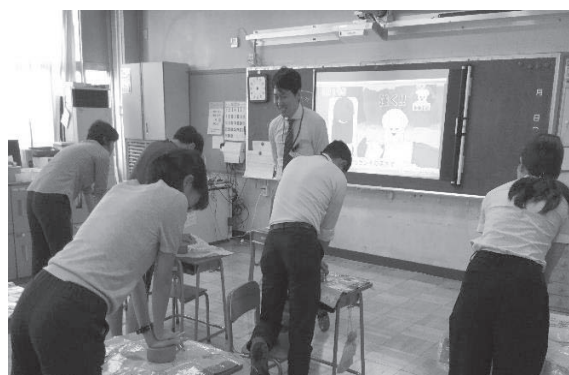
<普通救命講習>

1回目…消防署の方による指導



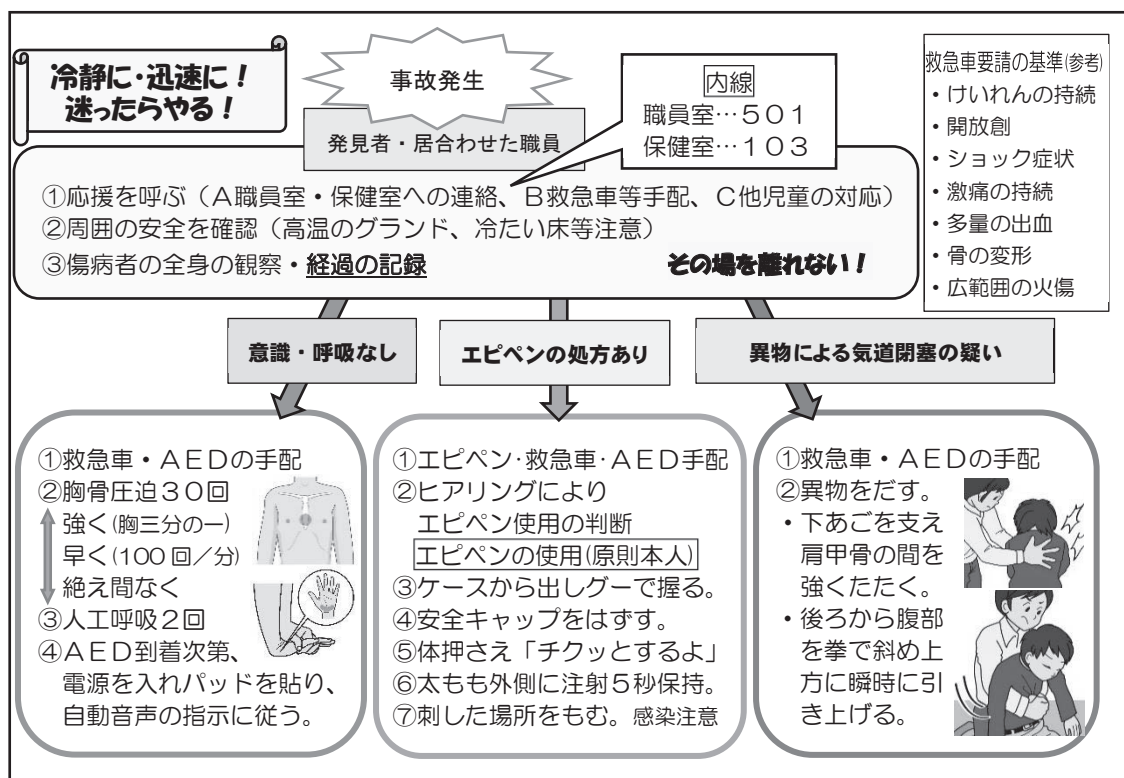
2回目…東京慈恵会医科大学 救急医学講座

医学博士 太田修司先生からの指導



<エピペン使用・緊急時対応に関する研修>

養護教諭が講師となり、エピペンの使用方法や緊急時対応について研修を行った。緊急時対応については、下記のカードを全教職員がネームプレートの中に入れることとした。



<不審者対応訓練>

本所警察署の方を講師に招き、不審者対応訓練を実施した。

<日本赤十字 防災教育教材校内研修会>

防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」の活用について研修をしていただいた。

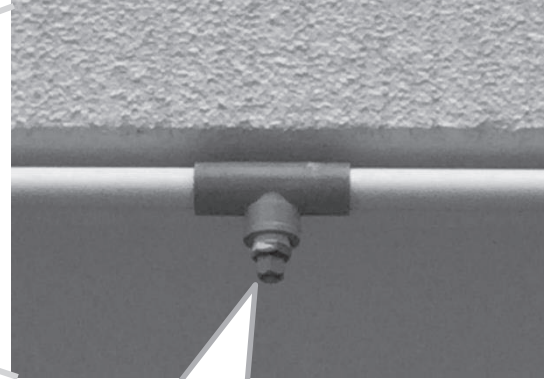
<学校保健委員会>

早川スクールカウンセラーを講師に招き、避難所運営についてのお話を伺った。

校内施設の充実

<校庭>

○ミストシャワー



○滑り止め



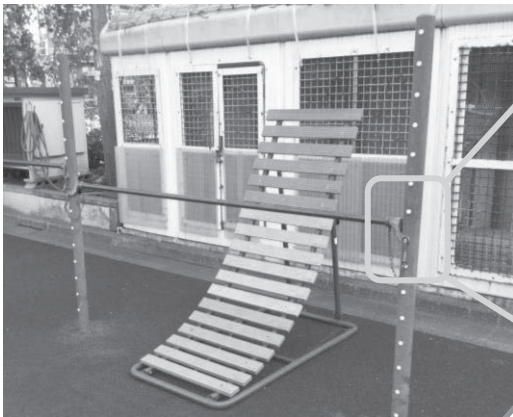
熱中症対策

霧状のシャワーで、暑さを和らげます。墨田区にある公立幼稚園、小・中学校全てに設置しています。

滑り防止

雨や雪の日も安心して通行できます。玄関の他に、屋上出入り口・体育館屋上の階段下・1年生が使用する水道前にも塗装しています。

○可動式鉄棒キャップ

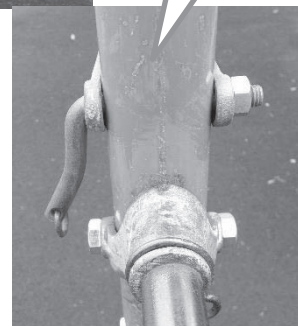


事故防止2

チェーンを取り外し、留め具のタイプを変更しました。

事故防止1

稼働する部分にキャップを取り付け、指などを挟んでしまう事故を防ぎます。



<廊下・階段>

○センターライン・進行表示



安全な廊下・階段歩行
滑りにくく、はがれにくい
素材です。

廊下・階段での事故防止

廊下・階段ともに進行表示をしたことで、廊下や階段を走る児童が減りました。

また、混雑時には、高学年が低学年に進行を譲っている姿も見受けられるようになりました。

○段差によるつまずき防止



足下の安全

段差が無くなり、車いすなどでもスムーズに出入りすることができます。

○衝突防止用ミラー



衝突防止

曲がり角などの見えにくい場所に設置しています。

児童の声

- ・廊下や階段が道路みたいになって、分かりやすくなった。
- ・どちらを歩けばいいか、分かるようになった。
- ・廊下を歩くのが、怖くなくなった。
- ・ぶつからなくなった。

<教室内>

○IP インターフォン



校内 LAN を活用した、緊急通報付インターフォン

教室間通話や教室からの全校放送ができます。緊急時や放送施設が使えない場合、外手小で作成した「緊急メッセージ」を校内に一括して放送する仕組みになっています。また、食物アレルギーの緊急対応や災害時の避難所運営の際、その場を離れることなく関係部署と連絡を取ることができます。

○ドアでの事故防止



出入り口の安全

ドアの開閉時に起きる事故を防止するため、ゴム製のカバーを取り付けました。